

事前評価個表

整理番号	40
------	----

地域（地区）名	^か が加賀地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	石川県	対象市町村	金沢市外4市
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地域は、石川県南部に位置し、区域面積は201,223haで金沢市をはじめ5市、2町が含まれる。</p> <p>森林は、白山を最高峰として広がる比較的急峻な山地に広く分布し、その面積は142,215haで、うち民有林が107,885ha(76%)、国有林34,330ha(24%)となっている。民有林における人工林は27,211haで人工林率は25%と県平均40%に比べ低い。</p> <p>その樹種別内訳はスギ23,338ha(86%)、マツ1,978ha(7%)であり、また、齢級構成は、9齢級をピークとした偏った構成になっている。人工林の成熟化が進んでいるが、林業採算性の悪化や境界が不明確などの理由により、適切な森林整備が行われなくなってきており、手入れ不足林の増加等により森林の多面的機能が失われることが危惧されている。</p> <p>このため、人工林については、森林資源の循環的利用を目指し、効率的な木材生産を行うための基盤整備を強化しつつ、集約化による森林整備を推進するとともに、経営条件が不利な人工林については、針広混交林や広葉樹林への誘導を図る。</p> <p>本計画に基づき、計画的に森林整備を行うことにより、間伐材利用の増加や森林の公益的機能の発揮が期待される。</p> <p>自然環境の保全や農林業の振興に配慮した森林整備を実施するため、関係部局との連携を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,230ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,855,309千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.18 (総便益(B) = 18,274,350千円、総費用(C) = 3,523,954千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の現状からみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：資源として本格的に利用可能な段階を迎えている人工林等を適正に整備することにより、公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>森林は多面的な機能を有しているが、これらの機能を一度失うとその回復には長期間を要することから、生育段階や立地条件に応じた適時・適切な森林整備が不可欠である。</p> <p>本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから、本計画を実施することは適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 加賀

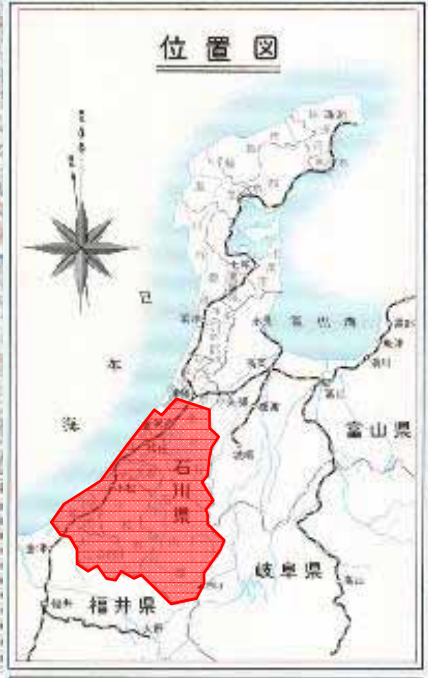
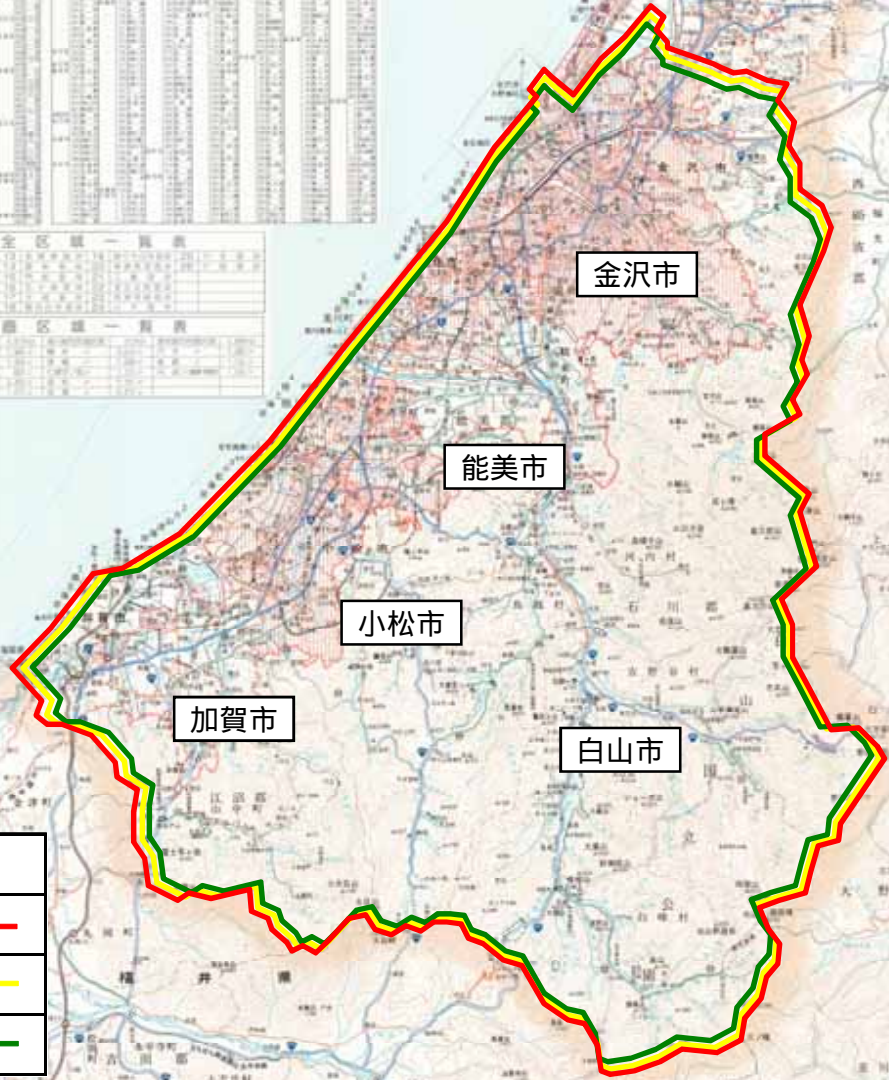
石川県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,641,533	
	流域貯水便益	2,749,885	
	水質浄化便益	4,134,129	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,935,574	
	土砂崩壊防止便益	15,648	
環境保全便益	炭素固定便益	1,229,179	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	2,568,402	
総 便 益 (B)		18,274,350	
総 費 用 (C)		3,523,954	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,274,350}{3,523,954} = 5.18$		

森林環境保全整備事業 加賀地域(石川県) 概要図

森林環境保全整備事業実施区域一覧表
都市計画区域一覧表
都市計画区域一覧表

森林環境保全整備事業実施区域一覧表
都市計画区域一覧表
都市計画区域一覧表



凡例	
計画区界	— (Red line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Green line)

記	
国道路	— (Blue line)
主要地方道	— (Orange line)
一般地方道	— (Light blue line)
河川	— (Blue wavy line)
湖沼	— (Light blue area)
森林	— (Green area)
市界	— (Dotted line)
町界	— (Dotted line)
村界	— (Dotted line)
人口	○ (Symbol)
標高	○ (Symbol)
距離	0 100 200 (Scale)